

コンピューター実習 No. 3 $\text{T}_\text{E}\text{X}$

～ $\text{L}_\text{A}\text{T}_\text{E}\text{X}$ Beamer でスライド作り ～

桂田 祐史

明治大学現象数理学科

2022 年 10 月 21 日

目次

- ① はじめに — L^AT_EX Beamer を体験しよう
- ② L^AT_EX Beamer で出来ること
- ③ L^AT_EX Beamer 雛形代わりに例
- ④ グラフィックスの挿入
- ⑤ テキストの挿入

はじめに — \LaTeX Beamer を体験しよう

前回、前々回、 \TeX (\LaTeX) の使い方を解説しました。実は \TeX でもプレゼンテーションを行うことができます。

はじめに — L^AT_EX Beamer を体験しよう

前回、前々回、T_EX (L^AT_EX) の使い方を解説しました。実は T_EX でもプレゼンテーションを行うことができます。

個人的な意見ですが、プレゼンテーションについては、PowerPoint や Keynote 等が T_EX よりも便利なことも多いと思います。しかし以下のような条件がある場合は T_EX の方が便利なことがあります。

はじめに — L^AT_EX Beamer を体験しよう

前回、前々回、T_EX (L^AT_EX) の使い方を解説しました。実は T_EX でもプレゼンテーションを行うことができます。

個人的な意見ですが、プレゼンテーションについては、PowerPoint や Keynote 等が T_EX よりも便利なのも多いと思います。しかし以下の様な条件がある場合は T_EX の方が便利なのがあります。

はじめに — L^AT_EX Beamer を体験しよう

前回、前々回、T_EX (L^AT_EX) の使い方を解説しました。実は T_EX でもプレゼンテーションを行うことができます。

個人的な意見ですが、プレゼンテーションについては、PowerPoint や Keynote 等が T_EX よりも便利なのも多いと思います。しかし以下のような条件がある場合は T_EX の方が便利なのがあります。

- 数式の量が多い場合 (特に式変形の議論などをするとき)。
- レポートやノートなどを T_EX で作成していて、そちらからのコピーができる場合。

はじめに — L^AT_EX Beamer を体験しよう

前回、前々回、T_EX (L^AT_EX) の使い方を解説しました。実は T_EX でもプレゼンテーションを行うことができます。

個人的な意見ですが、プレゼンテーションについては、PowerPoint や Keynote 等が T_EX よりも便利なことも多いと思います。しかし以下のような条件がある場合は T_EX の方が便利なことがあります。

- 数式の量が多い場合 (特に式変形の議論などをするとき)。
- レポートやノートなどを T_EX で作成していて、そちらからのコピーができる場合。

T_EX でスライドを作る場合、L^AT_EX Beamer というものが良く使われています。使うソフトは L^AT_EX のときと同じ TeXShop で OK です。

はじめに — L^AT_EX Beamer を体験しよう

前回、前々回、T_EX (L^AT_EX) の使い方を解説しました。実は T_EX でもプレゼンテーションを行うことができます。

個人的な意見ですが、プレゼンテーションについては、PowerPoint や Keynote 等が T_EX よりも便利なのが多いと思います。しかし以下のような条件がある場合は T_EX の方が便利なのがあります。

- 数式の量が多い場合 (特に式変形の議論などをするとき)。
- レポートやノートなどを T_EX で作成していて、そちらからのコピーができる場合。

T_EX でスライドを作る場合、L^AT_EX Beamer というものが良く使われています。使うソフトは L^AT_EX のときと同じ TeXShop で OK です。

ポスター発表という発表形態がありますが、L^AT_EX Beamer でポスターを作ることができます。

L^AT_EX Beamer で出来ること

- プレゼンテーション・ソフトと同様、スライドを集めた形式の文書を作成できます。

L^AT_EX Beamer で出来ること

- プレゼンテーション・ソフトと同様、スライドを集めた形式の文書を作成できます。
- 1枚のスライドは、1つの `frame` 環境で作れる。

```
\begin{frame}[オプション]{タイトル}
```

```
\end{frame}
```

L^AT_EX Beamer で出来ること

- プレゼンテーション・ソフトと同様、スライドを集めた形式の文書を作成できます。
- 1枚のスライドは、1つの frame 環境で作れる。

```
\begin{frame}[オプション]{タイトル}
```

```
\end{frame}
```

- 数式入力、グラフィックス挿入、プログラム等のテキスト挿入など、L^AT_EX とほぼ同様のやり方で行えます。

$a^2 + b^2 = c^2$ とか

$$\int_0^{\infty} e^{-x^2} dx = \frac{\sqrt{\pi}}{2}.$$

L^AT_EX Beamer で出来ること

- プレゼンテーション・ソフトと同様、スライドを集めた形式の文書を作成できます。
- 1枚のスライドは、1つの frame 環境で作れる。

```
\begin{frame}[オプション]{タイトル}  
  
\end{frame}
```

- 数式入力、グラフィックス挿入、プログラム等のテキスト挿入など、L^AT_EX とほぼ同様のやり方で行えます。

$a^2 + b^2 = c^2$ とか

$$\int_0^{\infty} e^{-x^2} dx = \frac{\sqrt{\pi}}{2}.$$

- 使うソフトは (L^AT_EX と同様) TeXShop で OK です。

L^AT_EX Beamer で出来ること

- プレゼンテーション・ソフトと同様、スライドを集めた形式の文書を作成できます。
- 1枚のスライドは、1つの frame 環境で作れる。

```
\begin{frame}[オプション]{タイトル}  
  
\end{frame}
```

- 数式入力、グラフィックス挿入、プログラム等のテキスト挿入など、L^AT_EX とほぼ同様のやり方で行えます。

$a^2 + b^2 = c^2$ とか

$$\int_0^{\infty} e^{-x^2} dx = \frac{\sqrt{\pi}}{2}.$$

- 使うソフトは (L^AT_EX と同様) TeXShop で OK です。
- 出力フォーマットは PDF が標準です (プレビュー等でプレゼン出来る)。

サンプルを試そう

ターミナルで実行しよう

```
curl -O http://nalab.mind.meiji.ac.jp/2022/20221021.tar.gz
tar xzf 20221021.tar.gz
open 20221021
```

これで `jissy03.tex`, `samplebeamer.tex` が現れるので、TeXShop でタイプセットしてみてください。

グラフィックスの挿入

やり方は \LaTeX と同じです。

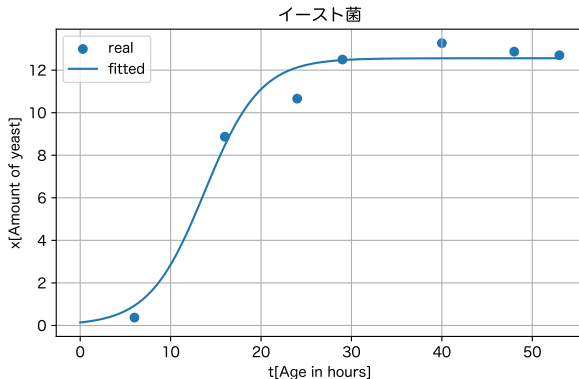


Figure: イースト菌の増加の様子

テキストの挿入

verbatim 環境や `\verbatiminput [] {}` を使う場合は、frame 環境のオプションに `fragile` が必要です。

```
\begin{frame}[fragile]{見出し}  
  
\end{fragile}
```

その点に注意すれば、後は \LaTeX と同様です。